

前週例会 (11月13日) レポート

会長報告

○今日は職場例会という事で香川大学農学部にお越し頂きました。
今日の客話は香川大学農学博士の田中道男先生です。
京都大学ではIPS細胞の研究が盛んに行われていますが、50年前から植物のIPSを研究しているそうで、色んな楽しい話を聞けると聞いております。
また、農学部・学部長の早川先生も海外から今朝帰られて、是非今日の例会に出席したいと参加して頂きました。本当にありがとうございます。
今日は何年か前、何十年間か前に戻った気になり真摯な気持ちで講義を受けて頂けたと思います。

幹事報告

○例会臨時変更のお知らせ

月 日	曜	クラブ名	例会場	→	月 日	曜	場 所	時間
11/21	水	普通寺 R C	普通寺商工会議所	→	11/21	水	ひろや	12:30
11/29	木	観音寺 R C	観音寺商工会議所会館	→	11/29	木	定款第6条により休会	
12/3	月	高松北 R C	JRホテルクレメント高松	→	12/3	月	ホテル パールガーデン	18:00
12/7	金	高松西 R C	JRホテルクレメント高松	→	12/7	金	時間変更	12:30
12/12	水	普通寺 R C	普通寺商工会議所	→	12/8	土	オークラホテル丸亀 12F エメラルド	18:00

職場例会「香川大学農学部」

○香川大学農学部 学部長 早川 茂様

今日は農学部にお越し頂きましてありがとうございます。
この農学部は教育研究をしていますが特に研究面でいきますと生物のチカラを利用したものを私たちがいかしていくかという事で生物生産、加工をし安全性をどう見ていくか、流通をどうしていくか等を考える仕事をさせて頂いております。生物生産に関しましてはお米を品種改良しておいしいお米を作ったり、お酒にできるお米を作ったりしております。また、ワインの原料にもなるブドウを品種改良したりしております。
新しい科学、遺伝子研究なども進めております。
日経トレンディーに掲載されているヒット予想2013年第4位に選ばれた希少糖ドリンクがありますが、これは香川大学で開発されたものです。日夜、研究したものが世に出ているという事は喜ばしいことだと思っております。
最後になりますが香川大学で改良したブドウで造ったワインがあります。今回は昨年産の物ではありますが会長にご賞味して頂きたいと思っておりますのでお持ち帰りください。



客話

○「クローン苗生産における新技術と植物工場」 香川大学 農学博士 田中道男先生

3年に1回開催される世界蘭会という会議がありますが、昨年の11月にシンガポールで開かれ、その基調講演をする為に行ってまいりました。

今日はクローン苗についてお話をさせて頂きます。この植物培養テクノロジーを初めて開発したのは今から50年前になります。その時に使われたのがシンビジュウム、蘭です。植物では50年前からIPS細胞の研究をし、実用化に成功しております。植物培養の中でも難しいのが胡蝶蘭です。そのクローン増殖に香川大学で成功しました。様々な植物を培養していくには大きな施設が必要であり、室内温度をコントロールしていかなければなりません。しかしその施設のおかげで常に安定した物を培養していく事が出来ます。各企業はこのクローン増殖技術を使いたくさんの利益を上げているのも事実です。

このクローン増殖技術の成功と同時に施設も変わってきております。大きな施設を用意すると電力をたくさん使うわけですが、その為の設備も研究され変わってきております。

大学の研究は(アプライドサイエンス)基礎研究も大事だが自分達が開発した技術は世の中の為、産業の為、発展の為にあってほしいと思っております。



高松東ロータリークラブ 会長 新谷 哲夫 幹事 上野 明